

# Ein Deutsches Requiem Op. 45

「」内の訳文は、1988年発表の日本聖書協会「聖書 新共同訳」(1998年刊行)を使用  
作成責任者 大野 堯

Selig	sind,	die	da	Leid	tragen,
[zé:lic]	[zint]	[di:]	[da:]	[la:t]	[trä:gən]
形容詞	自動詞sein3人称複数	關係代名詞複數1格	副詞	中性名詞4格	他動詞3人称複数
この上なく幸せ	である	～人たちは	そこで	悲しみを	運ぶ、耐える
denn	sie	sollen	getröstet	werden.	
[dɛn]	[zi:]	[zolən]	[gətrø:stet]	[vér:dən]	
接続詞	人稱代名詞3人稱複數1格	話法的助動詞3人稱複數	他動詞trösten過去分詞	受動の助動詞不定形	
なぜなら～だから	彼らは	〈当然〉	慰められる	〈受動〉	

「悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。」<新約聖書>マタイによる福音書:5.4

Die	mit	Tränen	säen,	
[di:]	[mit]	[tré:nən]	[zé:en]	
關係代名詞複數1格	前置詞3格支配	姓名詞Träne複數3格	他動詞3人稱複數	
～人たちは	と共に	涙	種を播く	
werden	mit	Freuden	ernten.	
[vér:dən]	[mit]	[frø:ydən]	[érntən]	
未來の助動詞3人稱複數	前置詞3格支配	姓名詞Freude複數3格	他動詞不定形	
〈未来〉	と共に	喜び	収穫するだろう	

「涙と共に種を蒔く人は 喜びの歌と共に刈り入れる。」<旧約聖書>詩編:126.5

Sie	gehen	hin	und	weinen	
[zi:]	[gé:a:n]	[hín]	[önt]	[váinen]	
人稱代名詞3人稱複數1格	自動詞hingehen3人稱複數	分離前綴	接続詞	自動詞3人稱複數	
彼らは	行く	⇨	そして	泣く	
und	tragen	edlen	Samen		
[önt]	[trä:gən]	[é:dlen]	[zá:mən]		
接続詞	他動詞3人稱複數	形容詞edle男性4格	男性名詞4格		
そして	運ぶ	高貴な	種を		
und	kommen	mit	Freuden		
[önt]	[kómen]	[mit]	[frø:ydən]		
接続詞	他動詞3人稱複數	前置詞3格支配	姓名詞Freude複數3格		
そして	来る	と共に	喜び		
und	bringen	ihre	Garben.		
[önt]	[bríngən]	[í:rə]	[gárben]		
接続詞	他動詞3人稱複數	所有代名詞ihr複數4格	女性名詞Garbe複數4格		
そして	持つて来る	彼らの	穀物の束を		

「種の袋を背負い泣きながら出て行った人は 束ねた穂を背負い喜びの歌をうたいながら帰ってくる。」<旧約聖書>詩編:126.6

Denn	alles	Fleisch	es	ist	wie	Gras
[dɛn]	[á:ləs]	[fla:s]	[əs]	[ist]	[vi:]	[grá:s]
接続詞	形容詞alle中性1格	中性名詞1格	人稱代名詞1格	自動詞sein3人稱單數	接続詞	中性名詞1格
なぜなら～だから	すべての	肉は	それは	である	のようで	草
und	alle	Herrlichkeit	des	Menschen		
[önt]	[á:lə]	[hérlichkait]	[dəs]	[ménʃən]		
接続詞	形容詞女性1格	姓名詞1格	定冠詞男性2格	男性名詞Mensch2格		
そして	すべての	栄華は		人の		
wie	des	Grases	Blumen.			
[vi:]	[dəs]	[grá:zəs]	[blú:mən]			
接続詞	定冠詞中性2格	中性名詞Gras2格	女性名詞Blume複數1格			
のようで	草の	花々				

「人は皆、草のようで、その華やかさはすべて、草の花のようだ。」

Das	Gras	ist	verdorret
[d a s]	[g r a : s]	[i s t]	[f e r d ó r e t]
冠詞中性1格	中性名詞1格	完了の動詞sein3人称単数	自動詞verdorren過去分詞
草は		〈現在完了〉	乾ききった、干からびた
und	die	Blume	abgefallen.
[u n t]	[d i :]	[b l ú : m e]	[á p g e f á : l e n]
接続詞	定冠詞女性1格	女性名詞1格	自動詞abfallen過去分詞
そして	花は		落ちた〈ist abgefallen現在完了〉
草は枯れ、花は散る。」〈新約聖書〉ペトロの手紙一:1.24			

  

So	seid	nun	geduldig,	lieben	Brüder,
[z o :]	[z a i t]	[n u : n]	[g e d ó l d i c]	[l í : b e n]	[b r ý : d e r]
副詞	自動詞sein命令形2人称複数	副詞	形容詞	形容詞lieb複数1格	男性名詞Bruder複数1格
それゆえ	～あれ	今、さあ	忍耐強く	愛する	兄弟たちよ
bis	auf	die	Zukunft	des	Herrn.
[b i s]	[a ö f]	[d i :]	[t s ú : k ö n f t]	[d e s]	[h e r n]
接続詞	前置詞1格支配	定冠詞女性4格	女性名詞4格	定冠詞男性2格	男性名詞Herr2格
まで	～に(予定時点)		きたるべき時代、未来		主の

「兄弟たち、主が来られるときまで忍耐しなさい。

Siehe,	ein	Ackermann	wartet
[z í : ð]	[a i n]	[á k a r m a n]	[v á r t e t]
他動詞sehen命令形2人称複数	不定冠詞男性1格	男性名詞1格	自動詞warten3人称複数
見よ		農夫は	待つ
auf	die	köstliche	Frucht
[a ö f]	[d i :]	[k é s t l í c e]	[f r ö x t]
前置詞1格支配	定冠詞女性4格	形容詞köstlich女性1格	姓名詞4格
に向けて(期待の目標)		おいしい、高価な	実り、成果
und	ist	geduldig	der
[u n t]	[i s t]	[g e d ó l d i c]	[d e r]
接続詞	自動詞sein3人称複数	形容詞	定冠詞女性2格
そして	である	忍耐強く	Erde
bis	er	empfahе	
[b i s]	[e : r]	[e m p f á : ð]	
接続詞	人称代名詞1格	他動詞empfahlen(empfangen)接続法第1式3人称複数	
まで	彼が	受け取る、授かる	
den	Morgenregen	und	Abendregen.
[d e n]	[m ó r g e n / ré : g e n]	[u n t]	[á : b e n t / ré : g e n]
定冠詞男性1格	男性名詞4格	接続詞	男性名詞4格
朝の雨を		そして	夕べの雨を

農夫は、秋の雨と春の雨が降るまで忍耐しながら、大地の尊い実りを待つのです。」  
〈新約聖書〉ヤコブの手紙:5.7

(Denn alles Fleisch ist wie Gras und alle Herrlichkeit des Menschen wie des Grases Blumen.  
Das Gras ist verdorret und die Blume abgefallen.)  
「人は皆、草のようで、その華やかさはすべて、草の花のようだ。草は枯れ、花は散る。」  
〈新約聖書〉ペトロの手紙一:1.24

Aber	des	Herrn	Wort	bleibet	in	Ewigkeit.
[á : b e r]	[d e s]	[h e r n]	[v ó r t]	[b l á i b e t]	[i n]	[é : v i c k a i t]
接続詞	定冠詞男性2格	男性名詞Herr2格	中性名詞1格	自動詞bleiben3人称複数	前置詞3格支配	女性名詞3格
しかし		主の	言葉は	とどまる、続く	に	永遠
「しかし、主の言葉は永遠に変わることがない。」〈新約聖書〉ペトロの手紙一:1.25						

Die	Erlöseten	des	Herrn		
[d i :]	[e r l ö : z e t e n]	[d e s]	[h e r n]		
定冠詞復数1格	他動詞erlösen過去分詞名詞化	定冠詞男性2格	男性名詞Herr2格		
救われた者たちは		主の（主によって）			
		werden	wieder	kommen	
		[v e : r d e n]	[v i : d e r]	[k ó m e n]	
		未来の助動詞3人称複数	副詞	自動詞不定形	
		だろう <未来>	再び	来る	

「主に贖われた人々は帰って来る。」

und	gen	Zion	kommen	mit	Jauchzen;
[o n t]	[g e n]	[t s i : o n]	[k ó m e n]	[m i t]	[j á u c h z e n]
接続詞	前置詞4格支配	男性名詞4格	自動詞不定形	前置詞3格支配	中性名詞3格
そして	に向かって	シオン	来る	をもって	歓呼の声
ewige			Freude		wird
[é : v i g e]			[f r ó y d e]		[v i r t]
終身的ewig姓1格			姓名詞1格		未来の助動詞werden3人称単数
永遠の			喜びが		だろう <未来>
über			ihrem	Haupte	sein,
[ý : b e r]			[i : r e m]	[h á u p t e]	[z a i n]
前置詞3格支配			所有代名詞ihr中性3格	中性名詞Haupt3格	自動詞不定形
の上に			彼らの	頭	ある
Freude	und	Wonne	werden	sie	ergreifen,
[f r ó y d e]	[o n t]	[v ó n e]	[v e : r d e n]	[z i :]	[e r g r á i f e n]
姓名詞4格	接続詞	姓名詞4格	未来の助動詞3人称複数	人称代名詞1格	他動詞不定形
喜び	と	至福、満足を	だろう <未来>	彼らは	つかむ、捕らえる
としえの喜びを先頭に立てて					喜び歌いつつシオンに帰り着く。

und	Schmerz	und	Seufzen		
[o n t]	[ʃ m e r t s]	[o n t]	[z ó y f t s e n]		
接続詞	男性名詞1格	接続詞	男性名詞Seufzer1格		
そして	苦痛	と	嘆息は		
wird			weg	müssen.	
[v i r t]			[v e k]	[m ý s e n]	
未来の助動詞werden3人称単数			副詞	詔法の助動詞不定形	(sein「である」が省略された)
だろう <未来>			消えて	違いない	<必然・推量>

喜びと楽しみが彼らを迎へ 嘆きと悲しみは逃げ去る。」<旧約聖書>イザヤ書:35.10

### III

Herr,	lehre	doch	mich,		
[h e r]	[l é : r e]	[d o x]	[m i c]		
男性名詞1格	他動詞lehren命令形2人称単数	副詞	人称代名詞ich4格		
主よ	教えよ	さあ	私に		
dass	ein	Ende	mit	mir	haben
[d a s]	[a i n]	[é n d e]	[m i t]	[m i : r]	[h á : b e n]
接続詞	不定詞中性4格	中性名詞4格	前置詞3格支配	人称代名詞ich3格	他動詞不定形
ということを		終わりを	と共に	私	持っている
					〈必然〉
und	mein	Leben	ein	Ziel	hat,
[o n t]	[m a i n]	[l é : b e n]	[a i n]	[t s i : l]	[h a t]
接続詞	所有代名詞中性1格	中性名詞1格	不定詞中性4格	中性名詞4格	他動詞haben3人称単数
そして	私の	生命・生涯は		期限を	持っている
und	ich	davon		muss.	
[o n t]	[i c]	[d a f ó n]		[m ó s]	
接続詞	人称代名詞1格	副詞（前置詞von + 前文を受ける代名詞）		詔法の助動詞müssen1人称単数	
そして	私は	それについて		～ねばならない	（本動詞の省略「知る」か？）

「教えてください、主よ、わたしのゆく末を わたしの生涯はどれ程のものか いかにわたしがはかないものか、悟るように。」<旧約聖書>詩編:39.5

Siehe,	meine	Tag	sind		
[zí:ə]	[máinə]	[tágə]	[zínt]		
他動詞sehen命令形2人称単数	所有代名詞mein複数1格	男性名詞Tag複数1格	自動詞sein3人称複数		
見よ	私の	日は	～ある		
	einer	Hand	breit	vor	dir,
	[áinər]	[hant]	[bráit]	[fo:r]	[di:r]
	不定詞ein女性2格	女性名詞2格	形容詞	前置詞3格支配	人称代名詞du3格
	(一つの)	手の	幅で	前で	あなたの

「御覧ください、与えられたこの生涯は 僅か、手の幅ほどのもの。

und	mein	Leben	ist		
[o:nt]	[ma:n]	[lé:bén]	[ist]		
接続詞	所有代名詞中性1格	中性名詞1格	自動詞sein3人称単数		
そして	私の	生涯・命は	である		
	wie	nichts	vor	dir.	
	[ví:]	[níct:s]	[fo:r]	[di:r]	
	接続詞	不定代名詞	前置詞3格支配	人称代名詞du3格	
	のよう	何もない	前で	あなたの	

御前には、この人生も無に等しいのです。

Ach,	wie	gar	nichts	sind	alle	Menschen,
[ax]	[ví:]	[ga:r]	[níct:s]	[zínt]	[álə]	[mén:sən]
歎詞	接続詞	副詞	不定代名詞	自動詞sein3人称複数	形容詞all1複数1格	男性名詞Mensch複数1格
ああ	のようで	全くなにも	ない	である	すべての	人々は
	die	doch	so	sicher	leben.	
	[dí:]	[dóx]	[zo:]	[zíçar]	[lé:bén]	
	関係代名詞複数1格	副詞	副詞	形容詞・副詞	自動詞3人称複数	
	(人々は)	にもかかわらず	とても	確かに	生きている	

ああ、人は確かに立っているようでも すべて空しいもの。」<旧約聖書> 詩編:39.6

Sie	gehen	daher	wie	ein	Schemen	
[si:]	[gé:ən]	[dahé:r]	[ví:]	[a:n]	[sé:mən]	
人称代名詞3人称複数	自動詞3人称複数	副詞	接続詞	不定冠詞男性1格	男性名詞1格	
彼らは	行く、動く	そこから	のように		影、まばろし	

「ああ、人はただ影のように移ろうもの。

und	machen	ihnen	viel	vergebliche	Unruhe,
[o:nt]	[máxən]	[í:nən]	[fi:1]	[férge:plíçə]	[ónru:a]
接続詞	他動詞3人称複数	人称代名詞3人称複数3格	形容詞	形容詞vergleichlich姓格	女性名詞1格
そして	もたらす	彼らに	多くの	無駄な、空しい	動搖・不安を

ああ、人は空しくあくせくし

sie	sammeln	und	wissen	nicht,		
[zi:]	[záməln]	[o:nt]	[ví:sən]	[níct]		
人称代名詞3人称複数	他動詞3人称複数	接続詞	他動詞3人称複数	副詞		
彼らは	集める、積む	そして	知らない	<否定>		
	wer	es	kriegen	wird.		
	[ve:r]	[e:s]	[krí:gən]	[vírt]		
	疑問代名詞1格	人称代名詞3人称複数中性	他動詞不定形	未然の助動詞werden3人称複数		
	誰が	それを	受け取るだろう	<未来・推量>		

だれの手に渡るとも知らずに積み上げる。」<旧約聖書> 詩編:39.7

Nun,	Herr,	wes	soll	ich	mich	trösten?
[nu:n]	[hér]	[vés]	[zó:l]	[íç]	[míç]	[tró:stən]
副詞(照鏡的)	男性名詞1格	疑問代名詞was2格wessen詔	話法の助動詞1人称単数	人称代名詞1格	再帰代名詞	再帰動詞mich trösten不定
さて、では	主よ	誰を	<当為>	私は	頼みにするべきか	

「主よ、それなら 何に望みをかけたらよいのでしょうか。

Ich	hoffe	auf	dich.			
[íç]	[hófə]	[aʊf]	[díç]			
人称代名詞1格	他動詞hoffen1人称単数	前置詞1格支配	人称代名詞du4格			
私は	(助力を)期待する	に対して	あなた			

わたしはあなたを待ち望みます。」<旧約聖書> 詩編:39.8

Der Gerechten Seelen sind in Gottes Hand,  
 [d̥eʳ] [g̥ər̥éctən] [zé:₁ən] [z̥int] [in] [g̥ótəs] [hant]  
 定冠詞復数2格 男性・女性名詞Gerechte復数2格 女性名詞Seele復数1格 自動詞sein3人称複数 前置詞3格支配 男性名詞Gott2格 姓名詞3格  
 正しい人の 魂は にある にある 中 神の 手

「神に従う人の魂は神の手で守られ、

und keine Qual röhret sie an.  
 [ʊnt] [káine] [kv̥a:₁] [r̥y̥:r̥ət] [zi:] [an]  
 挿絆詞 不定冠詞Kein女性1格 女性名詞1格 他動詞anröhren3人称単数 人物代名詞3人称複数4格 分離前綴  
 そして <否定> 何の 苦痛も 触れない それらに ⇐

「もはやいかなる責め苦も受けることはない。」<旧約聖書統編> 知恵の書 : 3.1

## IV

Wie lieblich sind deine Wohnungen,  
 [v̥i:] [l̥í:p̥l̥iç] [z̥int] [dáine] [v̥ó:n̥øŋən]  
 諷 形容詞 自動詞sein3人称複数 所有代名詞dein複数1格 女性名詞Wohnung複数1格  
 なんと 愛らしく、快く (~で) ある あなたの 住まい・住居は

Herr Zebaoth!  
 [h̥eʳ] [t̥s̥é:b̥aot̥]  
 男性名詞1格 多数名詞2格  
 主よ 万軍(天の軍団)の

「万軍の主よ、あなたのいますところはどれほど愛されていることでしょう。」<旧約聖書> 詩編:84.2

Meine Seele verlangt und sehnet sich  
 [máinə] [zé:₁ə] [f̥erlángət] [ʊnt] [zé:n̥et] [z̥iç]  
 所有代名詞mein女性1格 女性名詞1格 自動詞verlangen3人称複数 挿絆詞 再帰動詞sich sehnen3人称複数 再帰代名詞  
 私の 魂・心は 求める、必要とする そして あこがれる、慕う ⇐  
 nach den Vorhöfen des Herrn;  
 [na:₁x] [den] [f̥ó:r̥/h̥ó:f̥ən] [des] [h̥ern]  
 前置詞3格支配 定冠詞複数3格 男性名詞Vorhof複数3格 定冠詞男性2格 男性名詞Herr2格  
 ~を 前庭

「主の庭を慕って、わたしの魂は絶え入りそうです。」

mein Leib und Seele freuen sich  
 [máin] [laip] [ʊnt] [zé:₁ə] [fr̥óyən] [z̥iç]  
 所有代名詞男性1格 男性名詞1格 挿絆詞 女性名詞1格 再帰動詞sich freuen3人称複数 再帰代名詞  
 私の 体 と 心は 喜ぶ

in dem lebendigen Gott.  
 [in] [dem] [lebéndigən] [g̥o:t̥]  
 前置詞3格支配 定冠詞男性3格 形容詞lebendig男性3格 男性名詞3格  
 の中で 生きている、命のある 神

「命の神に向かって、わたしの身も心も叫びます。」<旧約聖書> 詩編:84.3

Wohl denen, die in deinem Hause wohnen,  
 [vo:₁] [dé:n̥ən] [di:] [in] [dáinəm] [háuzə] [v̥ó:n̥ən]  
 諷(間接的) 指示代名詞複数3格 關係代名詞複數1格 前置詞3格支配 所有代名詞dein中性3格 中性名詞Haus3格 自動詞3人称複數  
 幸いだ その人たち (ところの) の中で あなたの 家 住む  
 「いかに幸いなことでしょう あなたの家に住むことができるなら

die loben dich immerdar.  
 [di:] [lobən] [d̥iç] [íma:r̥da:r̥]  
 關係代名詞複数1格 他動詞3人称複數 人物代名詞du4格 諷  
 (ところの) denen ほめる、讃える あなたを 常に

「まして、あなたを賛美することができるなら。」<旧約聖書> 詩編:84.5

Ihr habt nun Traurigkeit,  
aber ich will euch wieder sehen,  
und euer Herz soll sich freuen,  
und eure Freude soll niemand von euch nehmen.

Sehet mich an:  
Ich habe eine kleine Zeit  
Mühe und Arbeit gehabt  
und habe grossen Trost funden.

「ところで、今はあなたがたも、悲しんでいる。  
しかし、わたしは再びあなたがたと会い、  
あなたがたは心から喜ぶことになる。  
その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。」  
〈新約聖書〉ヨハネによる福音書:16.22

「目を開いて見よ。  
わずかな努力で、

わたしが多くの安らぎを見いたしましたことを。」  
〈旧約聖書続編〉シラ書:51.27

Ich	will	euch	trösten,
[ɪç]	[vɪl]	[ɔ:yç]	[trø:s tən]
人称代名詞1人称1格	話の助動詞	人称代名詞2人称複数4格	他動詞不定形
私は	〈意志〉	あなたがたを	慰めよう
wie	einen	seine	Mutter
[vi:]	[áinən]	[zárne]	[mötər]
接続詞	不定代名詞1格	所有格	女性名詞1格
～ように	人を	その	母が
			慰める

「母がその子を慰めるように わたしはあなたたちを慰める。--」 〈旧約聖書〉イザヤ書:66.13

## VI

Denn	wir	haben	hie	keine	bleibende	Stadt,
[dɛn]	[vɪ:r]	[há:bən]	[hi:]	[ká:rne]	[blá:bəndə]	[ʃtat]
接続詞	人称代名詞1格	他動詞1人称複数	副詞	不定詞kein女性1格	形容詞bleibend女性1格	女性名詞1格
なぜなら	私達は	持たない	ここに	〈否定〉何も	永続的な	都を
sondern	die	zukünftige		suchen	wir.	
[zóndərn]	[di:]	[tsú:kynftírgə]		[zú:cən]	[vɪ:r]	
接続詞	冠詞女性1格	形容詞zukünftig女性1格 (Stadtを補う)		他動詞1人称複数	人称代名詞1人称複数1格	
(前節) ではなくて	未来の・来るべき	都を		探す	私達は	

「わたしたちはこの地上に永続する都を持っておらず、来るべき都を探し求めているのです。」  
〈新約聖書〉ヘブライ人への手紙:13.14

Siehe,	ich	sage	euch	ein	Geheimnis:
[zí:ə]	[ɪç]	[zá:gə]	[ɔ:yç]	[aɪn]	[gəháimnɪs]
他動詞Sehen命令形2人称単数	人称代名詞1格	他動詞sagen1人称単数	人称代名詞1格	不定詞中性1格	中性名詞1格
見よ(精神的知覚)	私は	言う	あなた方に		秘密・神秘を

「わたしはあなたがたに神秘を告げます。

Wir	werden	nicht	alle	entschlafen,
[ví:r]	[vér:dən]	[níçt]	[álə]	[ént/flá:fən]
人称代名詞1格	未来的助動詞1人称複数	副詞	形容詞all複数・名詞的用法	自動詞不定形「眠り込む、永眠する」
我々は	〈未来〉	〈否定〉	すべて	眠らないだろう

「わたしたちは皆、眠りにつくわけではありません。」

wir	werden	aber	alle	verwandelt	werden:
[ví:r]	[vér:dən]	[á:bər]	[á:lə]	[férvándəlt]	[vér:dən]
人称代名詞1格	未来的助動詞1人称複数	接続詞	形容詞all複数	他動詞verwandeln過去分詞	受動の助動詞不定形
我々は	〈未来〉	しかし	すべて	変えられるだろう	〈受動〉

「わたしたちは皆、今とは異なる状態に変えられます。」

und	dasselbige	plötzlich,	in	einem	Augenblick,
[ʊnt]	[daszélbígə]	[pló:tshíç]	[ín]	[áiném]	[ággenblík]
接続詞	指示代名詞の名詞的用法中性1格	形容詞	前置詞3格支配	不定詞男性3格	男性名詞3格(=瞬間)
そして	まさにそれは	突然の	（in einem Augenblick : 一瞬のうちに）		

「わたしたちは皆、今とは異なる状態に変えられます。」

zu	der	Zeit	der	letzten	Posaune.
[tsu:]	[dér]	[tsaít]	[dér]	[lé:tstən]	[pozánə]
前置詞3格支配	定冠詞女性3格	女性名詞3格	定冠詞女性2格	形容詞letzt女性2格	女性名詞2格
に際して	時			最後の	ラッパ

「最後のラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちにです。」

Denn	es	wird	die	Posaune	schallen,
[dɛn]	[ɛs]	[vɪrt]	[di:]	[pozā̄nə]	[ʃá1ən]
接続詞	人称代名詞1格	未来の助動詞werden	3人称单数	定冠詞女性1格	自動詞不定形
なぜなら	(形式主語)	<未来>		ラッパは	鳴るだろう
und	die	Toten	werden		
[ʊnt]	[di:]	[tō:tən]	[vē:rðən]		
接続詞	定冠詞複数1格	名詞Tote複数1格	未来の助動詞3人称複数		
そして		死者たちは	<未来>		
auferstehen	unverweslich,				
[áʊf/ərʃtē:n]	[ó:n/fərvé:sliç]				
自動詞不規	形容詞				
復活するだろう	朽ちないように				
und	wir	werden	verwandelt	werden.	
[ʊnt]	[vi:r]	[vē:rðən]	[fərvándət]	[vē:rðən]	
接続詞	人称代名詞1格	未来の助動詞1人称複数	他動詞verwandeln過去分詞	受動の助動詞不定形	
そして	私達は	<未来>	変えられるだろう	<受動>	

ラッパが鳴ると、死者は復活して朽ちない者とされ、わたしたちは変えられます。」

〈新約聖書〉コリントの使徒への手紙一:15.52

Dann wird erfüllt werden das Wort, das geschrieben steht:

「この----とき、次のように書かれている言葉が実現するのです。

Der	Tod	ist	verschlungen	in	den	Sieg.
[dɛr]	[tɔ:t]	[i:t]	[fərʃlóngən]	[ɪn]	[dɛn]	[zi:k]
定冠詞男性1格	男性名詞1格	完了の助動詞sein3人称单数	他動詞verschlungen過去分詞	前置詞4格支配	定冠詞男性4格	男性名詞1格

『死は勝利にのみ込まれた。』』 〈新約聖書〉コリントの使徒への手紙一:15.54

Tod,	wo	ist	dein	Stachel?	
[tɔ:t]	[vo:]	[i:t]	[daɪn]	[ʃtákə]	
男性名詞1格	疑問副詞	自動詞sein3人称单数	所有代名詞男性1格	男性名詞1格	

死よ	どこに	あるのか	お前の	とげは	
Hölle,	wo	ist	dein	Sieg?	

『死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。』』

〈新約聖書〉コリントの使徒への手紙一:15.55

Herr,	du	bist	würdig	zu	nehmen
[hɛr]	[du:]	[bɪst]	[vɪrdɪç]	[tsu:]	[ně:mən]
男性名詞1格	人称代名詞1格	自動詞sein2人称单数	形容詞	前置詞(zu不定詞句)	他動詞不定形

主よ	あなたは	~である	ふさわしい、値する	⇒	受け取ることに
Preis	und	Ehre	und	Kraft,	

『主よ、わたしたちの神よ、あなたこそ、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方。』

denn	du	hast	alle	Dinge	erschaffen,
[dɛn]	[du:]	[hast]	[ále]	[dɪŋə]	[ɛrʃafən]
接続詞	人称代名詞1格	完了の助動詞haben2人称単数	不定代名詞all複数4格	中性名詞Ding複数4格	他動詞erschaffen過去分詞
なぜなら	あなたは	〈現在完了〉	全ての	物を	創造した
und	durch	deinen	Willen	haben	sie
[ʊnt]	[dʊrc̩]	[dáinən]	[vílən]	[há:bən]	[zi:]
接続詞	前置詞4格支配	所有代名詞 dein 男性4格	男性名詞 Wille 4格	他動詞3人称複数	人称代名詞3人称複数1格
そして	を通して	あなたの	意思	持つ	それら(物)は
das	Wesen	und	sind	geschaffen.	
[das]	[vé:zən]	[ʊnt]	[zínt]	[gəʃafən]	
定冠詞中性4格	中性名詞4格	接続詞	受動の助動詞sein3人称複数	他動詞schaffen過去分詞	
本質・存在を	~	そして	〈状態受動〉	創造されている	

あなたは万物を造られ、御心によって万物は存在し、また創造されたからです。」  
 〈新約聖書〉ヨハネの黙示録:4.11

## VII

Selig	sind	die	Toten,		
[sé:liç]	[zínt]	[di:]	[tó:tən]		
形容詞	自動詞sein3人称複数	定冠詞複数1格	名詞Tote複数1格		
この上なく幸せ	~である		死者たちは		
die	in	dem	Herren	sterben,	von
[di:]	[in]	[dəm]	[héren]	[stérben]	[fɔn]
關係名詞複数1格	前置詞3格支配	定冠詞男性3格	男性名詞Herr 3格古形	自動詞3人称複数	前置詞
~ところの	で	主	死ぬ		nun
				(von nun an : 今から、今後)	an.

「天からこう告げる声を聞いた。『今から後、主に結ばれて死ぬ人は幸いである。』

Ja,	der	Geist	spricht,		
[ja:]	[de:r]	[ga:i:t]	[ʃpri:t]		
間接詞	定冠詞男性1格	男性名詞1格	他動詞sprechen3人称複数		
そうだ		靈は	言う		
dass	sie	ruhen	von	ihrer	Arbeit;
[das]	[zi:]	[rú:ən]	[fɔn]	[i:rər]	[árba:t]
接続詞	人称代名詞1格	自動詞3人称複数	前置詞3格支配	荫代名詞ihr女性3格	姓名詞3格
ということを	彼ら(死者)は	休息する	から離れて	彼らの	労働

denn	ihre	Werke	folgen	ihnen	nach.
[dén]	[í:re]	[vérkə]	[fólgən]	[í:nən]	[na:x]
接続詞	荫代名詞ihr複数1格	中性名詞Werk複数1格	自動詞nachfolgen3人称複数	人称代名詞3人称複数3格	分離前綴
何故なら	彼らの	産物・成果は	後を追って行く	彼らの	←

靈も言う。『然り、彼らは労苦を解かれて、安らぎを得る。その行いが報われるからである。』」  
 〈新約聖書〉ヨハネの黙示録:14.13

### 論文紹介

「ドイツレクイエム」Op.45 — その宗教性と同時代の反響 — 関根 裕子  
 日本ブームス協会会誌「赤いはりねずみ」第30号p.32-56(2002年)

この曲は従来のレクイエム(死者のためのミサ)とは異なり、著名な音楽辞典ではカトリック典礼用ではない傍系のものとしての扱いを受けている。

19世紀後半の文化の担い手は教養市民階級であり、音楽の演奏や鑑賞も彼らの合唱団や協会を中心とした。ブームスはこれらの階級を意識して、彼の管弦楽付合唱曲の歌詞には文学性の高いものを使用した。市民にとってキリスト教も文化や歴史の一部となっており、従って聖書のテキストも文学テキストの一部と見做された。

ブームスは個体の不滅性も復活も信じていなかったと言われる。では、この曲での宗教性とはどんなものだろうか。「慰められる(getröstet werden)という言葉が4度出てくる。これがこの曲では重要な意味を持つ。人生の無常に対する絶望、諦念を経て、「慰められる」ことに希望をつなぐのが、この曲の中心的思想と考えられる。

また、テキストも音楽全体も一直線ではなく、「死」を克服して行く過程での疑問や葛藤がある。聖書の言葉は使用しているが、教会原理を説くのではなく、教会に依存しない現代人の苦悩を、キリスト教宗派を越えた独自の死生観で語っている。----- (詳細については原著を見て下さい 大野 堯)

## ドイツ語の発音について

大野 堯

発音記号は Das Standardwerk zur Deutschen Sprache (6) Das Aussprache-wörterbuch (Der Duden in 10 Bänden : Dudenverlag発行) 「ドゥーデン標準ドイツ語全10巻 第6巻 発音辞書」の発音記号を記載したが、次の点はこれとは異なる取り扱いをした。

- ①アクセントの位置は上部に'をつけて示した。
- ②語尾等の-r, -erの発音標示について

「標準発音」は、日常の会話や講演で使用される。Duden にはこれが記載されている。

「舞台発音」は、演劇や音楽等の舞台で使用される。Duden には注釈で説明されている。

Duden の発音記号は [ə] であるが、本資料では「舞台発音」を採用するときの利便を考えて、イタリック標示の発音記号 [r] [ər] を記載した。次表で説明する。

- ③二重母音は、実際の発音（口の動き）に近い表示に変更した。

### 【語尾等の-r, -erの発音】

本資料での標記	標準発音（会話・講演等）	舞台発音（演劇・歌唱）
[r]	あいまい母音 [ə] 「ア」 (はっきりとした「ア」ではない)	[r] 「ル」（巻き舌のr）
例 wir [v i:r]	「ヴィーア」	「ヴィール」
[ər]	あいまい母音 [ə] 「ア」 (はっきりとした「ア」ではない)	[ə r] 「エル」 (あいまい母音「エ」と巻き舌のr)
例 Mutter [mʊtər]	「ムッタ」	「ムッテル」

当団は標準発音を指向しているが、舞台発音の併用・選択については、指揮者の考え方へ従う。

（参考）19世紀後半にドイツ語発音の統一標準となったのは演劇界から出たローマ字式に読む「舞台発音」です。しかし、その後日常会話ではアクセントのない音節の母音eや語尾のrが消え、それが現在の「標準発音」となりました。現代演劇では、この新しい標準発音が使われるようになりましたが、クラシック音楽では「舞台発音」が支持されています。しかし最近では歌唱でも会話風に発音される傾向が出てきました。CDなどで歌詞を見ながら聞いて下さい。

（参考）三ヶ尻 正 著「歌うドイツ語ハンドブック」

### 【開放的母音と閉鎖的母音】

開放的母音（口をやや開く）・短母音	閉鎖的母音（口をやや閉じる）・長母音
ɛ 口を軽く開いた「エ」「ア」の感じ	e: 両唇を横に引っ張る（完全な「イー」ではない）
i 口を軽く開いた「イ」 縦に開いて	i: 両唇を横に引っ張る
ɔ 口を軽く開いた「オ」「ア」の感じ	o: 唇を前へ突き出す
ø 口を軽く開いた「ウ」「オ」に近い	u: 唇を前へかなり突き出す
øの口で「エ」と言う 同じ口のまま	ø: oの口で「エー」と言う 舌背を上げる
øの口で「イ」と言う 舌背を上げる	y: u: の口で「イー」と言う（「ユー」ではない）
ə, ə, ə 中間的母音 あいまい母音	無性格 笑みの口形 舌の力を抜く

### 【二重母音】

本資料での標記	発音のカタカナ表現	高折 続 氏の標記*
[a i]	「アイ」であるが、「アエ」に近い	[a e]
[a ʊ]	「アウ」であるが、「アオ」に近い	[a o]
[ɔ ʏ]	「オイ」であるが、「オエ」に近い	[ɔ ø]

\* 高折 続 著「歌唱のためのドイツ語発音法」

### 【子音】

子音で注意が必要なもの（一部）

[r]	原則的に巻き舌 ([r] と [ər] は母音化されることがある ⇒ [ə])
[l]	舌先を上歯後に付け、離しながら母音を言う。語尾のlは舌を付け、口は開けたまま。
[m]	両唇を閉じ、鼻に響かせながら開いて母音を言う。語尾の「ム」は口が閉じている。
[n]	舌先を上口蓋に付け、鼻に響かせながら離し、母音を言う。語尾の「ン」は口が開いている
[ŋ]	口を開き、舌背と口蓋垂をつけ、鼻に響かせる。口蓋垂で舌背を弾くと [ŋ k] となる。
[χ]	喉の奥で摩擦しながら強く息を出す。a, o, u, auに続くchの発音
[ç]	舌と上口蓋の間に摩擦しながら強く息を出す。上記以外の母音に続くchの発音

子音の美しさがドイツ語の特長の一つである。はっきりと発音したい。

語頭の子音は早めに発音し、音譜のところには丁度母音が来るようになる。

同じ子音が2つ続くときは、前の母音を短くして子音を強調する。（発音記号では区別されないが）